

市民の声

江田島市に寄せる思いや伝えたいこと

＝ 市民の声募集中 ＝

江田島市議会では、市民の声を募集しています。
《問い合わせ先》議会広報特別委員会
☎42-6310

今回は市内各中学校の生徒の皆さん
に市民の声をお願いしました。

江田島市への 思い



江田島中学校
乙田 美咲

私の住む江田島市には、たくさん誇れるところがあります。まず、「江田島市に住む人が人想いで心優しい」ことです。例えば、あいさつをすればあいさつを返してくれます。このことは当たり前と思う人がいるかもしれないですが、実はそうではないと私は思っているのです。都会の生活を思い浮かべてみてください。あいさつをしたときに全ての人が言葉を返してくれる

でしょうか。私はそうは思いません。また、あいさつをすることは、相手に対して優しい気持ちがあるかと思うのです。私は人に優しくされたらその分、優しくされたいと思います。二つ目は「自然が豊かで落ち着く」ことです。江田島市は山の緑、海の青があり、きれいな自然に囲まれています。そんな江田島市に季節ごと

の趣を感じます。国語の古典の時間に学習をした清少納言の「枕草子」を思い出します。彼女の感じる四季の良さ（をかし）に、現代を生きる私も共感しました。私の感じる季節の良さ（をかし）は次のようなところです。春は、鶯の鳴き声、満開の桜。夏は、青々とした木々の葉、蝉の声。秋は、紅葉の景色とトンボが飛ぶ姿。冬は、朝焼けの空。これが江田島市の四季です。

このような江田島市を私は、誇りに思います。そして、「感謝」を伝えたいです。なぜなら、江田島市に住んだおかげで、人に対して優しくなろうと思えたり、きれいな自然を愛することができるようになったからです。これからも江田島市のことを誇りに思い、生活していきたいと思っています。

江田島の 魅力と誇り



能美中学校
尾崎 心優

私は江田島が大好きです。学校生活を送りながら日々幸せを感じて生活しています。そんな私が考える江田島の「魅力」と「誇り」について紹介します。一つ目は、何と云っても自然が豊かなところです。都会に比べてショッピングモールなど私たちが遊べる場所は少ないですが、自然が私の先生となってくれます。命の尊さや、自然の持つ偉大さに気付かせてくれ、時に

は友情を育む大切な架け橋となってくれます。また、自然が織り成す壮大な景色は、「今日も一日頑張ろう」と元気をくれます。この自然は、江田島の宝だと思います。この宝を守っていくために私の通う能美中学校でも、環境美化活動に取り組んでいます。二つ目は、人情味あふれる島だということですが、人口は少ないですが、その分地域のコミュニティに優れていると思いま

す。地域の方々は気持ちのよい挨拶を返してくれたり、時には「せっかくだ作ったけん食へんさい！」と笑顔で野菜を持ってきてくれたりします。また、2年前に豪雨災害を経験し、地域の方々が道路にたまった泥を、汗を流しながらきれいにしてくださる様子を見ました。その時、江田島には安心して頼ることができるとは、公助・公助があり、困った時は協力し合える温かさがあることに気付

きました。これらのことが、私が日々生活する中で感じてきた江田島の「魅力」と「誇り」の一部です。今はまだ、大好きな江田島のためにできることは限られていますが、生徒会長として、みんなが誇れる江田島づくりに向けて、地域とつながることができると活動提案していきたいです。

「江田島のカキ」



三高中学校
上田 寛人

僕は、昨年の修学旅行で、東京にある広島県のアンテナショップ「T.A.U」でのカキの販売を通して、江田島の特産品や島の魅力を知りました。まず、この体験を通して、江田島市の認知度が低いと感じました。カキを販売している時に「広島のカキは、やっぱりおいしいね」と言われた時に、「広島はどこで作られたか知っていますか」と聞くと、答えを返して

もらえなかったからです。その人に、どこでどのように作られているのかを話すと、「すごい」と驚いていました。江田島市は、毎年、国内の殻付きカキの生産量を、呉市と1、2位の座を競っています。しかし、今は「広島のカキ」として有名です。将来は「江田島のカキ」となるようになってほしいと思っています。島の人たちが、「江田島の魅力」をもっと広く発

信していかなければなりません。また、「カキおいしかったよ。もっと食べたいから江田島のカキを買ってみよう」と言われた時は、大変うれしかったです。カキ一袋販売するのに、すごく苦労しましたが、カキが売れて「江田島の魅力」を紹介でき、興味を持ってもらえたのでよかったです。このような、修学旅行での小さな活動でしたが、江田島を知ってもらえる

きっかけになることがよく分かりました。僕は、江田島がもっと活気にあふれ、多くの人に移住してくる町になってほしいです。そのためにも、「江田島のカキ」を有名にしたいし、これからも「江田島のカキ」を、多くの人に広められるような取り組みをしていきたいです。そして何より島の人が「江田島の魅力」をもっと知り、自信をもって発信することが大切だと思います。

「世界に誇れる 江田島市」



大柿中学校
山野 幹矢

僕は、将来江田島市に広島県を代表するような栄えた市になってほしいと思います。そのためには、カキやオリーブ、江田島焼などの特産品をさらに発信していくべきだと考えます。総合的な学習の時間の授業を通して、江田島市のことを調べていくうちに、たくさん魅力があることを知りました。その中でもオリーブは、右肩上がりです。そして、質が良く、昨年4月にイタリアで開かれた「マスタ

ーズオブオリーブオイル国際コンテスト」で1位を受賞するほどです。このような良さを県外の人に知ってもらうために、僕たちは修学旅行で江田島市が世界に誇る物産を発信しようと計画を進めていました。ところが、新型コロナウイルス感染症が流行し、修学旅行の延期や発信活動の中止により、県外で江田島市をPRすることは難しくなりました。それでも僕は、県内でもまだ江田島市を知らない人に紹介していきたいと思

います。2045年には江田島市は現在の人口の約2分の1になると予測されており、人口の減少が問題となっています。しかし、江田島市から市外へ移住をしようと思っている人の中には、この問題を自分には関係ないと思える人もいます。僕はこのような考え方が人口減少の問題をさらに深刻化させるのだと思っています。江田島市を活性化させるには、若い人の力が不可欠だと思います。そこ

で僕は、微力ながらも市に協力していきたいと思っています。それは「生まれ江田島市には、恩返しをしたい」という強い気持ちからです。僕には、市のたくさんの魅力に気付かせてもらったり、これまで温かく接してくださったりした多くの方々に感謝の気持ちがあります。それを恩返しという形で江田島市のことを市外・県外の人に発信していきたいと思っています。